

## 明るい選挙啓発授業展開例（模擬投票実施型）

### 1 目標

- ・講義やクイズを通して、選挙の意義や制度を知る。
- ・候補者情報の見つけ方や評価方法について知る。
- ・模擬投票や開票作業を通して、投票について関心を高める。
- ・投票方法の流れと投票する時に気をつけることを理解する。
- ・若者の投票率低下や国民の権利について学び、一票の重要性について考える。

### 2 展開例（90分の場合）※高等学校向けの一例

	学習活動	備 考	担 当
導入 5分	1 あいさつ	・あいさつ後、自己紹介	<b>選管担当者</b>
講義 40分	2 なぜ「代表者」を選ぶのか 3 代表者・有権者の役割 4 選挙運動における注意点 6 選挙クイズ 7 候補者情報の見つけ方について 8 候補者情報の評価方法	・禁止されている選挙運動についても紹介 ・2～3問程度  ・選挙で議論される政策（争点）を決めて、候補者の公約を評価する。	
模擬投票 15分	9 模擬投票 ・投票する候補者を決める。 ・投票の流れの説明 ・投票が終わり次第、選挙クイズに参加する。 10 開票作業を実施し、投票結果を知る。	・模擬投票は、架空の選挙公報を使い、市町村選管が中心となって進行する。 ・担任は児童生徒の誘導を行う。 ・全員が投票を終えるまで選挙クイズを実施する。 ・児童生徒が受付、投票立会人、開票作業を体験する。 ・投票結果は児童生徒代表者が発表する。	<b>市町村選管担当者</b> (選管準備物) ・投票所入場券 ・投票用紙 ・記載台 ・投票箱 (児童生徒) ・受付〇名 ・投票立会人〇名 ・開票作業〇名
まとめ 30分	11 まとめ  12 アンケートを記入し、回収	・投票した後の有権者の役割について説明 ・選挙の歴史、若者の投票率低下、国民の権利等に触れながら一票の重要性について考えさせる。 ・活動を振り返らせながら、投票への関心の高まり及び選挙への理解の度合いについて確認する。	<b>担任</b> ・アンケート用紙の回収